

2019年9月

学校法人 東放学園
東放学園高等専修学校 殿

2019年度 学校関係者評価報告書

東放学園高等専修学校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価委員

【関連業界】

島田 文夫 株式会社ディーアイボックス 代表 オーディションプロデューサー

【卒業生】

田嶋 幸弘 ダンサー、NPO法人 Wa-shoi 理事長

【教育、学校運営に関し知見を有する者】

荒川 兼一 都立高等学校 元校長、東放学園高等専修学校 前学校教育アドバイザー

2. 事務局

鳶田 慎 東放学園高等専修学校 校長

清水 大樹 教務教育部 部長

橋本 光一 学務管理部 部長

米倉 寿雄 入学広報部 部長

田塚 友弘 教務教育部 主任

山本 茂 学務管理部 主任

小野 喜彦 学務管理部 主任

佐藤 ひとみ 入学広報部 主任(事務局)

3. 学校関係者評価委員会の開催状況

2019年 7月26日(金) 15:00～17:00 東放学園高等専修学校 5B教室

4. 学校関係者評価結果

※別紙のとおり

※別紙

4. 学校関係者評価結果

【評定内容】

- 4 : 適切に対応している。課題の発見に積極的で、今後更に向上させるための意欲がある。
- 3 : ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。
- 2 : 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
- 1 : 全く対応しておらず不適切である。学校の方針から見直す必要がある。

I. 2018年度重点目標について

重点目標 1 について

コメント	評定
<ul style="list-style-type: none">・ 入学者40名以上という目標が小さい気がしますが、昨年度までの実績からだとも妥当だと思います。今後はSNSの活用や、話題になる授業内容を考慮するなど工夫することにより、入学者も増えると思うので是非実施していただきたいです。・ 昨年度末から校長を中心に新体制で臨み、今年度からは校長自らが入学広報部長を兼務し、担当者だけでなく全教職員が分担して、入学実績のある学校を中心に中学校訪問を実施しました。また、費用対効果を重視した広告媒体の出稿、ホームページ閲覧対策等を強化した結果、入学者は昨年度より微増し、資料請求件数・イベント参加数は増加しました。次年度の入学生対象の説明会も、参加者が増加しています。・ 入学者も増加傾向にあるので、良いと思います。SNSなどの広告も積極的に行っているため、良いと思います。	3

重点目標 2 について

コメント	評定
<ul style="list-style-type: none">・ 基本理念は素晴らしいと思います。生徒に目標を与えられるような授業及び外部での活動など、実践的なコンテンツを導入していくと良いと思います。・ 2016年度に発足したプロジェクト5ヶ年計画は、多様化する生徒・保護者、及び社会のニーズに対応した専門学校としてのカリキュラムの見直し、検証・分析が行われてきました。しかし、この数年ITを基礎とした、技術の高度化、グローバル化がよりスピードを増して、改革・変革が求められています。専門性を高める本校の独自性と、上級学校等への進学等の真価が問われています。・ それぞれのニーズに合った教育体制がとれていていいのですが、もう少し基礎科目を多くするか、国際的な人材を育成する体制がとれると尚良いと思います。	3

重点目標 3 について

コメント	評定
<ul style="list-style-type: none">・ 取り組み方法など素晴らしいと思います。色々なジャンルの大人の経験談を一人でも多く聞く授業があれば、学校生活の尊さなど響いていくと思います。・ 多様な進路に対応するために、キャスト系・クリエイター系・一般就職・専門学校進学・大学進学等と、分野ごとに担当を設け、生徒個々にきめ細かな指導がなされています。1年生から校内で行われている就職活動(オーディション等)が、90%を超える進路決定に繋がっています。今後、更にキャリア教育を基盤にした生涯学習の視点で年間計画を提示し、進路講座の充実を図ることが求められます。・ 早期に面談を実施するなど、適切な対応がとれていて、素晴らしいと思います。	4

重点目標 4 について

コメント	評定
<ul style="list-style-type: none">・ 重点目標3と同じになりますが、学校生活の大切さをリアルに体験してほしいと思います。全員で何かを「生む力」を体験できるイベントだったり、何かを制作したりするコンテンツがもっとあれば良いと思います。・ 毎月実施されている全教職員出席の生徒指導連絡会は、生徒の諸問題の共有化だけでなく、生徒指導に対する意識を高めることに役立っています。生徒指導主任・学年主任・クラスアドバイザーとの連携体制が定着するとともに、スクールカウンセラーの適切なアドバイスが生徒指導にとどまらず、三者面談や保護者会にも反映しています。中途退学者が減少の成果が見られました。・ DO率も減少していて、良い傾向にあると思います。	4

II. 評価項目別取組状況について

基準1 教育理念・目的・育成人材像

コメント	評価
<ul style="list-style-type: none"> 平均的な授業ではなく、狭い専門的な選択授業を増やすべきだと思います。また、外部講師を見直す必要もあるかと思っています。外で話題になる授業コンテンツが一つは欲しいです。 専門分野の特性を明確にした教育方針に通じており、授業内容や教職員の行動指針もこれに基づいています。業界のニーズに合った対応として、講師・進路先企業からの意見等を参考に事業計画書(5ヶ年)の作成・見直しを実施しています。現役のプロが講師として授業を行い、現場で培われた技術や生の情報、そして育てる熱意、姿勢は魅力的です。 これからも素敵な人材を育成してください。 	3

基準2 学校運営

コメント	評価
<ul style="list-style-type: none"> 事業計画、運営方針など素晴らしいと思います。重点目標1に繋がりますが、生徒数が多くならないとクリアできない問題がたくさんあるようにも思えます。 学校運営方針は部門ごとの事業計画書に明記され、年度初めの教職員全体会、及び毎月定例の職員会議での周知で、徹底されています。また、運営会議等において、進捗状況を把握し、検証が行われています。教職員全体の意識も高まっているように伺えます。学校運営を円滑に進めるための、意思決定機能が明確です。指導・協力体制の充実を図るための権限が明確にされています。 方針などは良いので、入学者数が増えることを願います。 	3

基準3 教育活動

コメント	評価
<ul style="list-style-type: none"> 個性的で才能ある子が確実に芽生えていると思います。その才能を伸ばすコンテンツを充実させていけば、必ず結果は出ると思います。そして、外との繋がりをもっと持つべきだと思います。 本校独自の専門性を高める学習を希望する生徒、一方、大学等上級学校への進学を希望する生徒、大学入学資格付与指定校として卒業後の進路実現を可能にするためにも、国語、社会、英語、情報等の学習は必要性を増しています。本校生徒の多様なニーズに対応したカリキュラム・プロジェクトを2016年に立ち上げ、定期的な見直しや時間割の改善、履修ガイドの整備が行われています。生徒の授業評価の反映にも取り組んでいます。 カリキュラムなどは良いと思いますが、講師の入れ替えも多少必要なのではと思います。 	3

基準4 学修成果

コメント	評価
<ul style="list-style-type: none"> 卒業生が活躍してる情報は、事務所や企業などに気を遣うことなく、全て公表して良いと思います。入学しようとする子たちや、ご家族が気にする重要な部分だと思います。 芸術活動・創作活動・進学を含めて、「進路決定率」90%の目標を達成しました。さらに、東放学園キャリアサポートセンターと連携して、新たな所属先や進路先の開拓が期待されています。本校の専門性を活かすためにも、コミュニケーション能力の習得は重要です。進路相談、面接指導等、個別指導を重視した指導体制ができています。また、パソコン検定等の資格取得を目標とする授業の希望者が増え、成果を上げています。漢字検定や英語検定のほか、専門の分野でも朗読、イラスト、ストレッチ等、様々な検定、資格取得を目標とする科目の設定は、その成果が明確になることから受講者の増加が期待できます。 成果は良いですが、キャスト系を目指す生徒へのプロダクションへのアプローチがもっと必要だと思います。 	3

基準5 学生支援

コメント	評価
<ul style="list-style-type: none"> 卒業生のフォローなど素晴らしいと思います。愛がある学校です。 デビュー・就職・進学指導については、クラスアドバイザー・進路指導担当者を中心に、指導に当たっています。さらに、東放学園キャリアサポートセンターが設置されており、全学協力体制で取り組まれています。また、進学希望者には予備校との連携等の受験指導の改善による進路決定者の増加、また、生徒指導についてはクラスアドバイザー、生活指導主任が中心に保護者との連携が迅速に進められ、退学者の減少に結びついています。 卒業後のフォローや活動を把握することで、入学に対する意識が変化すると思います。 	3

基準6 教育環境

コメント	評定
<ul style="list-style-type: none"> ・ 当たり前ですが、やる気を出させることが重要なので、その前にやれることを見つけてもらうコンテンツを用意したほうが良いと思います。整った環境があるから後は学び方、自主力を教えるだけでも改善されると思います。 ・ 学外での活動は奨励しており、本校教育課程の教科・科目のに基づく芸能活動をしている生徒に限り、その活動が授業時間と重複する場合は、補習や報告書などの書類提出によって授業に振り返る規定を定め、学業との両立を図れるようにしています。 ・ 学校自体は綺麗になっていて良いが、専門分野への特出した色が少なくなっていて、面白みがなくなっています。 	3

基準7 学生の募集と受入れ

コメント	評定
<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSなどを使い、募集時期だけでなく、YouTubeやツイキャスなどもっと発信していくべきだと思います。 ・ 本校最大のPRポイントは少人数学級で、きめ細かな指導ができています。家族的な人間関係が醸造され、生活指導上の問題は激減し、進路決定者は増加しています。学校説明会では体験学習を設置し、演劇・ヴォーカル・ダンス等のエンタメ系の学習はプロの講師が指導するため、参加者の評判が良く、リピーターも増えています。公立高校の授業料無料等に対応するために2019年度入学生より私立学校としての授業料等の分納を取り入れていません。 ・ SNSなどをうまく活用して、生徒募集を増やした方が良いです。他の専門分野を学ぶ高等学校が強くなってきているので、東放学園の特色を生かす必要があると思います。 	3

基準8 財務

コメント	評定
<ul style="list-style-type: none"> ・ 借入金、未払金がなく素晴らしいと思います。少子化で厳しいと思いますが、現状の生徒人数だと実際経営出来るのかの不安を抱かせる気がします。やはり1学年50名をクリアするか、人数が少ない理由を逆に提案できれば、イメージが変わる気がします。 ・ 5ヶ年事業計画と単年度事業計画に基づき、予算・収支計画を策定しています。法令に基づき、定期的に監査法人監査及び幹事監査を実施しています。また、私立学校法に基づく財務情報の公開について、規程等を整備し、閲覧形式にて2016年度より本格的な対応がなされています。 ・ 高等専修学校だけの独立した収入が、さらに必要だと思います。 	3

基準9 法令等の遵守

コメント	評定
<ul style="list-style-type: none"> ・ 取り組みも的確にやられて学校評価も素晴らしいです。 ・ 社会の信頼を得るべく学校運営の適正化を図るために、関係法令や専修学校設置基準などを遵守する体制が整えられています。また、学則変更等の諸届や各種規程の整備・改定などを適宜行われています。様々な啓発活動として、教職員には職員会議や諸会議で、生徒には履修ガイドへの掲載やオリエンテーションなどで学校の規則やルールとして説明されています。 ・ 適切に対応していると思います。 	4

基準10 社会貢献・地域貢献

コメント	評定
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会貢献、地域貢献など素晴らしいです。ここまでできる学校はなかなか無いと思います。 ・ 本校の教育分野の特性を生かし、関係中学校の出張授業や職場訪問学習の協力をしています。近隣小学校の行事における映像、音響、照明の協力や人権啓発ビデオに生徒がボランティアで出演をした実績があります。また、専門性を活かし、小・中学校や公共施設、介護施設を活用し、演劇、ヴォーカル、ダンスのパフォーマンスなどで社会貢献・地域貢献は可能です。 ・ 適切に対応していると思います。 	3

学校関係者評価委員会を終えての感想

<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本は素晴らしいと思います。関わってまだわずかですが、訪問する度に出会う生徒の表情などイキイキしてて気持ち良いです。必ずここから何か生まれるという気がしてならない思いです。新しいコンテンツの導入などで才能ある子たちを伸ばし、外に出ていくことをもっとやるべきだと思います。 ・ 近年、私立の通信制高校の募集応募者が増えていることから考えると、転入学や中途退学後等への対応を柔軟にすることが今求められているのではないのでしょうか。受験生の修得単位数や、一年に一回の応募機会を各学期ごとにあっても良いのではないのでしょうか。
--